

## 「高松赤十字病院紀要」投稿規定

本誌は医学・医療に関する原著、臨床研究、症例報告、高松赤十字病院医学会発表抄録、職員対象講義記録、CPC 記録等で未発表のものを掲載し、年1回発行する。

### [投稿資格]

投稿は高松赤十字病院勤務者および関係者に限る。ただし、紀要作成委員会から依頼したものはこの限りでない。

### [原稿の様式]

1. 原稿は Microsoft 社の Word で作成し、フォントは MS 明朝を用いる。また、句読点は「,」「.」（全角）を用いる。
2. A4判用紙に横書きで1頁あたり全角40字×20行とする。
3. 論文の長さは図・表・写真を含め、原著30枚以内、臨床研究・症例報告15枚以内とする。
4. 医学用語は学術用語集に従う。
5. 略語を使用する場合は、初出時に正式名称と略語の両者を記載する。
6. 原稿の構成は、次のようにする。
  - 1) 表紙：題名、著者名、所属
  - 2) 要旨：400字以内  
キーワード：3～5個、医学中央雑誌刊行会の「医学用語シソーラス」に準拠する
  - 3) 本文：次の順に記載する  
原著、臨床研究：はじめに、対象・方法、結果、考察、おわりに  
症例報告：はじめに、症例、考察、おわりに
  - 4) 引用文献：文献は、本文の引用箇所<sup>1), 2)</sup>のように肩番号を付す  
著者（初出の3名まで記載し、以下は和文では他、英文では et al とする）  
雑誌の場合：雑誌名は医学中央雑誌、Pub Med に従う  
著者名：表題、雑誌名 巻：始頁－終頁、発行年（西暦）。  
例 1) 守口将典, 大野泰裕, 小牧克守, 他：気腫性腎盂腎炎を合併した未治療2型糖尿病の1例. 糖尿病 50 (6) : 399-402, 2007.  
2) Aydin S, Isikligil I, Teksen YA, et al : Recovery of orbital fat pad prolapsus and deepening of the lid sulcus from topical bimatoprost therapy : 2case reports and review of the literature. Cutan Ocul Toxicol 29 (3) : 212-216, 2010.  
単行本の場合：著者名：章の見出し、書名、編者名、版次：始頁－終頁、発行所、発行地、発行年（西暦）。  
例 3) 小路美喜子：周手術期間後の概論. 臨床外科看護概論 : 259, 医学書院, 東京, 2009.  
Web ページ：サイト名、タイトル、URL [アクセスした年月日]  
例 7) 日本小児科学会, インフルエンザ脳症ガイドライン,  
<http://www.jpeds.or.jp/influen-za/influenza090928.pdf>  
[accessed 2011年5月10日]
7. 図(写真)・表は別に添付し、それぞれの表題は、図(写真)は下方に、表は上方に記す。本文中にその挿入場所を指定すること。
8. 紀要は原則として白黒印刷とする。カラー印刷を希望する場合は実費を著者負担とする。

## [原稿の提出]

1. 原稿は電子媒体で提出する。
2. 投稿原稿の採否と掲載順序は編集部会にて決定する。
3. 校正は著者が行う。なお、用語・仮名遣いは全体の統一のため編集部会で訂正することがある。
4. 本紀要に掲載された論文の著作権は、高松赤十字病院に帰属する。
5. 本紀要に掲載された著作物の全文または一部を電子化し、赤十字リポジトリサーバあるいは、その他のコンピュータネットワーク上で公開することがある。

## [注意事項]

1. 同趣旨の論文を他誌に掲載あるいは投稿していないこと。
2. 倫理上の問題がないこと。
3. 法規に従い、個人を特定できる情報は記述を避けること。
4. 共同執筆者（共同研究者）の了承を得ていること。
5. 他者の作成した図表の引用など著作権に関わる場合は、著作権者（学会、出版社など）に転載の許諾を得ること。
6. 利益相反状態が存在しないこと。

## [提出先]

〒760-0017 香川県高松市番町4丁目1番3号  
高松赤十字病院医療業務推進課 気付  
高松赤十字病院紀要作成委員会  
E-mail kiyo@takamatsu.jrc.or.jp

※「投稿論文チェックリスト」を原稿に添えて提出してください。